

2023年度

テクニカルアナリスト国際資格 第2次通信教育講座のご案内

—伝統的手法から科学的アプローチまで—
～資産運用に役立つテクニカル分析をもっと学び、
活躍の場を広げよう！～

- ・塩漬け株の要因となる投資家心理について述べよ
- ・RSIとRMIの違いを述べよ
- ・トレンドラインと支持線・抵抗線の違いを述べよ

※実際に出題された問題の一例です。

受講申込締切:2023年3月15日(水)
開講期間:2023年4月～8月(5カ月)

■ テクニカルアナリスト資格について

テクニカルアナリスト資格には第1次資格・第2次資格・第3次資格の3段階があり、この案内は第2次資格試験取得のために必要な「第2次通信教育講座」に関するものです。当講座では証券投資理論やテクニカル分析の実践的な使い方を学び、それを文章で表現する力を養います。受講者には第2次資格試験の受験資格が与えられ、試験に合格すると、国際テクニカルアナリスト連盟 (IFTA、International Federation of Technical Analysts、本部アメリカ合衆国) よりCFTeの資格が与えられます。また、IFTAに合格登録が完了すると、デジタル形式のCFTe資格認証バッジが発行されます。Digital Badgeとは、米国の認証機関であるCredly社より発行される、世界的にも使用できる資格情報となります。



■ 第2次通信教育講座の募集概要

- ①受講資格：2023年3月31日現在のCMTA®資格保有者で当協会会員である者
- ②募集期間：2023年2月1日(水)～3月15日(水)
- ③開講期間：2023年4月～8月(5ヵ月間)
- ④受講料：55,000円(税込) ※再受講料は33,000円(税込)。募集締切日までにお振込みください。
- ⑤申込：原則として、当協会ホームページよりインターネットでお申込みください。
- ⑥振込先：三菱UFJ銀行 日本橋支店 普通預金 NO.2017789
特定非営利活動法人 日本テクニカルアナリスト協会
トクヒ)ニホンテクニカルアナリストキョウカイ
※振込手数料は申込者負担となります。
- ⑦中途解約：受講者が、やむをえない事由により受講を辞退した場合の取り扱いは以下の通りです。
 - a.教材等発送前の申出は全額返還します。
 - b.教材等発送後の申出は当協会の規程に基づき返還します。

■ 第2次通信教育講座の概要

- ・模範解答で明快な分析手順を学べます。
- ・サポート講座で現役のテクニカルアナリストの説明を聴けます。
- ・WEB動画で講座を好きな時に視聴できます。

第2次通信教育講座の受講期間は、4月～8月の5ヵ月間です。練習問題は、第1次通信教育講座とは異なり、すべて手書きの小論文形式で、毎月1回、計5回出題されます。これは、第2次資格が、テクニカル分析手法を用いて相場の現状把握や投資判断を適切に行い、マーケット・レポートが書けることを到達目標としているためです。

■【参考】テクニカルアナリスト資格の全体像

| | | 第1次資格 CMTA [®] | IFTA 第2次資格 CFTe [®] | IFTA 第3次資格 MFTA [®] |
|----------------------------|---|--|--|--|
| 通 信 教 育 | 受講資格 | 不問 | CMTA [®] 資格保有者かつ 当協会会員 | |
| | 募集期間 | 年2回 4月～5月・10月～11月 | 年1回 2月～3月 | |
| | 受講期間 | 年2回 6月～10月・12月～翌年4月 | 年1回 4月～8月 | |
| | 練習問題 | 全5回 Web | 全5回 筆記 | |
| | 受講料 | 55,000円(税込) | 55,000円(税込) | |
| 資 格 認 定 試 験 | 受験資格 | 上記講座の受講者 ※初回受講後3年以内 | CMTA [®] 資格保有者かつ 上記講座の受講者 ※初回受講後3年以内 | CFTe [®] 資格保有者かつ 当協会会員 |
| | 試験形式 | ○×式(マークシート) 120分 | 小論文形式 180分 | 要約提出と 本論文提出 |
| | 試験時期 | 年2回 1月・7月 | 年1回 11月 | 年2回 4月・9月 |
| | 受験料 | 11,000円(税込) | 22,000円(税込) | 950米ドル |
| | 資格名 | 日本テクニカルアナリスト協会 認定テクニカルアナリスト 略称 CMTA[®] (Certified Member of The Nippon Technical Analysts Association) NTAA 2,408名 | 国際テクニカルアナリスト連盟 認定テクニカルアナリスト 略称 CFTe[®] (Certified Financial Technician) NTAA 520名 | 国際テクニカルアナリスト連盟 検定テクニカルアナリスト 略称 MFTA[®] (Master of Financial Technical Analysts) 157名のうちNTAA 49名 |
| 到達目標 | テクニカル分析に関する 基本的な知識および 使用方法を習得している | テクニカル分析を用いた 適切な現状判断と投資判断が でき、マーケット・レポートが 作成できる | 国際テクニカルアナリスト 連盟の知識データベースに 新たな視点を加える | |

※資格保有者人数は、2022年12月末現在です。

※受講料および受験料は、消費税10%を含んでおります。

※CFTe[®]のIFTAへの国際資格登録料200米ドルは協会負担です。

■ テクニカル分析について

投資対象の価格の変化は、投資家心理の変化を背景として投資対象の需給が変化することによって生じると考えられています。そこで、価格の変化や売買高の変化を分析することによって、その背景にある投資家の判断の変化を探り、ひいては投資対象の将来の価格変化をも探ろうとするのが「テクニカル分析」です。また、価格は悲観と楽観の間で推移しますが、いずれにも行き過ぎてしまうのが常で、この行き過ぎを捉えようという意図で考案された手法もあります。

投資対象の本来的価値を探り、それと市場価格とを比較するのが「ファンダメンタル分析」ですが、「ファンダメンタル分析」では「何を買えば良いのか」を知ることができますが、「いつ売買すれば良いのか」についてはシグナルを出しません。一方、「テクニカル分析」では、「いつ売買すれば良いのか」というシグナルは出ますが、「何を売買すれば良いのか」については知ることができません。

つまり、「ファンダメンタル分析」と「テクニカル分析」を組み合わせることによって、初めて「何を売買すれば良いのか」「いつ売買すれば良いのか」が分かることとなります。

リスクをコントロールしながら適切な投資を行うには、「ファンダメンタル分析」も「テクニカル分析」も欠かすことができないといえるでしょう。

日本テクニカルアナリスト協会 (NTAA) は、国際テクニカルアナリスト連盟 (IFTA) の創立に関与し、最初から加盟している3協会の1つです。テクニカル分析の通信教育を通じて適切な知識を持つ有資格者の増大に努めると共に、セミナー等を開催して広く「テクニカル分析」の普及啓発活動を行っています。



国際テクニカルアナリスト連盟 (IFTA) 加盟
日本テクニカルアナリスト協会[®]
特定非営利活動法人 (NPO法人)

〒103-0026

東京都中央区日本橋兜町3-3

TEL:03-5847-2231 平日9:00~17:00

URL:<https://www.ntaa.or.jp>

E-Mail:office@ntaa.or.jp

